

●聖霊降臨主日

泉のほとり

今月の詩編「第一〇八編」

どうか我らを助け

敵 からち救はさい

人間の与える救いは

むなしいものです



すべてを守るように

復活された主と弟子たちがガリラヤで再会しました。そこで主がはじめに語られたことばは「わたしは天と地の一切の権能を授かっている」ということでした。神はこの聖なる方を朽ち果てるままにしておかれませんでした。そしてなおこの方に天と地のすべてをお任せになつたと言われるのです。

使徒ペテロはこの方の証人の一人として「罪のない方、その口に偽りのない方、ののしられてものしりかえさず、正しくお裁きになる神さまにお任せになつた方」と証しています。主は心とことばと行いが一つである方、へりくだつた方、人の罪のために十字架に至るまで神に従順だつた方。神はこの方を復活させられ、天と地の一切の権能をお授けになつたのです。

世界の優れた指導者は誰でしょうか。この世の中のどの指導者に、どの人に、天と地のすべての権能を授けられるでしょうか。授けてはならないと思うのです。そこには「十字架」がないのです。真実はなく、偽り。人のために恥辱、屈辱を受けるより、自分のため、自分の名のために、この世での栄光を追い求める貪りが見られます。

神は、この世の方ある者、賢い者たちにはなく、「ナザレのイエス」にすべてをお任せになつたのです。ナザレの人イエスを見て、この神のご決定に心から「然り、然り」とし、自分もこのキリストの真実に生きる者、すなわち弟子になりたい者に「洗礼」を授けるようにと、また「あなた方に命じたことをすべて守るように教えなさい」とお示しになられたのです。

主イエスが捕らえられる日の夕食の時、ねたみあり、貶し合っている弟子たちに、主は彼らの一人一

人の足を洗いながら、「あなた方もこのようにしなさい」と、また「互いに愛し合いなさい。すると、あなたがわたしの弟子であることを皆が知るようになる」と教えられました。彼らをこれからは「友」と呼ぶと言われ、友のために死なれ、弟子たちを愛し抜かれたのです。そのような真実を示されたキリストの前で、なおも弟子たちが互いに貶し合っているのなら、それは今までのすべての主のお働きを空しくすることです。互いにねたみ合うその聲で「愛の福音」を伝えていけるのなら、キリストの福音は「力のない、言葉だけのもの」と自ら証していることにはかならないのです。結果的にはキリストを宣べ伝えることにはならず、イエスという尊いお名前を用いて、自分自身を伝えることになってしまうのです。

しかし、弟子たちはそのように生きることがもうできませんでした。主から受けた恵みの教えを真切に受け継ぐことはできなかつたのです。主を愛していたからです。彼らは自分たちが伝える福音が、言葉だけのものにならないようにと、ことばにも行いにも、偽りのない真実の証人となるために、また主が身をもつて教えられたように、人々を教える業に努めていたと思います。すなわち、そのためにまず、自分の中にある罪、貪り、悪しき心、すべてに真止面に取り相んだということは言うまでもなく、主のすべての教えを愛し、自らそれぞれに誠実に生きる者であつたと思います。

主の恵みを受けている者は、主を愛し、主が教えてくださった一つ一つのことを愛する者です。そして教えられたとおり生きる者です。

最も大切なこと

そして、多くの証人の面前でわたしから聞いたことを、ほかの人々にも教えることができる忠実な人たちに委ねなさい。

テモテへの手紙 2 二章 1 節

あなたはあなたの福音を

人間にもたらしてくださいました。

彼らをあなたと結びつけるために。

しかしわたしたちは、

あなたの土地の共有部分を分け合つて

ばらばらにしてしまったのです。

そしてわたしたちは、

教会の長いすに座つて孤立しています。

神の家である教会に

集まっている者たちをご覧ください。

心を通わせようともせず

からだになるうともしません。

いやそればかりか

頭であるお方がいなのまま

座り続けているのです

どうか彼らが、互いに席を詰めて、あなたにふさわしい存在になるように

助けてください。

頭であるお方のもとに。

あなたの僕たちに思い出させてください。

この救いの核心を

彼らが忘れないように。

愛する兄弟である方々、我々は神に感謝して

います。神があなた方の町に救いの教えの種

を蒔かれ、あなた方を兄弟の一致へと結ばれ、

あなた方に福音の眼目を示されたことを。す

なわち、神に属する者たちはみな、神が我々

に与えられた頭のもとで一つの体に結び合わ

されると。

カルヴァン

R・ポレン著 「祈る」より

堀原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○今日はペンテコステ礼拝です。聖霊がこの地上に来てくださり、教会を誕生させてくださったことを記念して礼拝を献げます。

○正午からホールで、ペンテコステを祝う会をします。

○引き続き愛餐会をします。今日のメニューは、チキンソテー・きのこクリームソース、ニース風サラダ、オニオンスープ、ライス、果物です。御期待ください。

○七月、二、一三日の予定で、奥多摩バイブルシャレーで礼拝研修合宿を行います。礼拝について学びたい方はどなたでも参加できます。今日中に、礼拝班委員にお申し出ください。

○八月、日から五日まで行われる姉妹教会のコイノニアキャンプのために、献金をお願いしています。事務所のカウンターに置いてある献金袋を用いてお献げください。

○古村牧師は、一三日（木）正午から明治学院白金校舎での礼拝で説教の奉仕をします。また一四日（金）午後六時から東京神学大学で行われる学生説教塾で奉仕をします。学生説教塾は二八日まで毎週金曜日に行われます。

ラバウル便り

NHKワールド取材

五月二七日から六月二日まで標記の撮影取材を受けました。今回彼らのテーマは「オイスカラバウル研修センターの稲作研修とその地域への普及」でした。研修センター内での人材育成活動、稲作普及活動、その中で私の関りの取材でした。今回の取材のメインとなるべく日本からの小型精米機の通関手続きに手間取ってしまい、三日予定を延期してその寄贈式を山奥の村（アラバム村）で実施しました。アラバム村まで行く道は既に大水のため遮断され、上り下りの急な山道を二時間歩き、川を渡って到着しました。私も疲れましたが何より村人の強健さに目を見張りました。約八〇kgある精米機を舟材に結び付けて四人で肩に担いで山道を歩くのですが、七〇、八〇度の傾斜坂道昇り下りをグングン歩いて進むのです。リュックひとつしか担いでいない私よりもずっと早いのです。これもコスモ石油の寄贈を受けて実現しました。

自分たちで作った米を食べたい、というとても強い意思がこのような状況を意に介さず頑張る力になったのだと思います。そしてこの寄贈式の中で地域のリーダーが私に精米機の祝福を村を代表して祈って欲しいと頼まれました。普通は村の教会の代表者の役割なのですが、私にそのお鉢が回ってきて驚きましたが、感謝をして祝福の祈りを捧げました。

私にとつては新しい経験でした。八月初旬の放映になるようです。

今年の夏品川教会にて実施されるコイノニアキャンプが主の雲に満たされ導かれて、全ての日程が進められること、そして特に韓国を代表して訪日される兄弟姉妹と日本の皆さんの関係のために祈っています。

(在 原 美知勝 記)

聖書の会

6月12日(水)

● 朝の聖書の会(10時)

「命を救うか、殺すか」

マルコ3章1節〜6節

菊池 美穂子 副牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「人からの誉れは受けない」

ヨハネ5章31節〜47節

黄 允湜 副牧師

ミニコンサート

6月13日(木) 12時30分〜

● ハンドベル演奏

「讃美歌525番

恵 み深き主の」ほか

次週礼拝

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃21127番 67番

説 教 「神はキリストを」

聖 書 使徒2章22〜36節

説 教 者 黄允湜 副牧師

● 第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 69番 529番

詩 篇 108篇

説 教 「罪が増せば、愛もあふれる」

聖 書 ローマ5章15〜21節

説 教 者 吉村和雄 牧師





ペンテコステ礼拝 (午前10時)

讃美歌 181番

180番

説教 「若者は幻を、老人は夢を」

聖書 使徒2章14～21節(新約 P215)

司式・聖餐司式 黄允滉 副牧師

説教者 吉村和雄 牧師

前奏曲「来たれ割り主なる聖霊」 E.グロート

○讃美歌 181番

1. みたまよ、くだりて あいのほのお
冷^ひえたる^こころに もやしたまえ
2. はかなきかげのみ 迫いさまよい
みかみをもとめで 日^ひをかさねぬ
3. ささぐるうたには ちからもなく
たたえのこえだに くちにいでず
4. 血^ちをもてすくえる 主^きをおもわず
死^しにたるさまにて いるまであらん
5. みたまよ、主イエスの あいの火^ひもて
われらの^こころに くだりたまえ アーメン

○フルートによる讃美

「ソナタBWV 529 第3楽章」 J.S.バッハ

○聖歌隊による讃美

「主よくだりたまえ」 S.バウム 訳：藤木敬三

来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊よ

御名により集い 主とほめたたえ

我が主のいのちは 我らに満ちる

与えられし全て 信じ日ごとに祝福を祈る

そして我ら願う

来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊よ

主の家族としてひとつの心

あなたの救いを喜び受ける

祝福をたまえ幼子たちに

若き者 老いたる者ら 全てに

来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊よ

主よ 来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊我らに

主よ 我らに

○讃美歌 180番

1. はとのごと降る めぐみのみたまよ
こころをやわらげ なぐさめたまえや
2. まことのひかりを われらにてらして
ひかりのなかをば あゆませたまえや
3. ちちなるみかみの みまえをはなれず
つつしみうやまい いのらせたまえや
4. いのちのみちなる 主イエスにしたがひ
みあとをふみつつ すすませたまえや
5. われらをきよめて さかえのみくにの
つきせぬめぐみを うけさせたまえや

アーメン

聖餐曲「パン」 シェイク

後奏曲「来たれ聖霊、主なる神」 J.S.バッハ